

報道関係者各位

虎屋文庫機関誌『和菓子』28号発行

2021年3月発行(年1回発行) B5版/92頁/1,000円(税込) 送料実費

虎屋文庫では、和菓子をテーマとした展示の開催、和菓子関連資料の収集、機関誌の発行などの活動を行っております。3月に機関誌『和菓子』28号を発行しましたので、概要をお知らせ申し上げます。

機関誌『和菓子』とは

和菓子に関連する論文や史料翻刻を中心とした学術雑誌で、1年に1回、発行しております。毎号「菓子とまじない、占い」「地域資料に見る菓子」「近世菓子見本帳」など、特集を設けています。

巻頭言

ある絵との出会い

林 綾野(キュレーター、アートライター)

特集 健康と菓子

菓子は、古くより無病息災や疫病退散の願掛けに用いられ、近代以降は、滋養強壮・栄養補給などの側面からも注目されてきました。今号では、人々の心や体の健康を支える存在としての菓자에焦点をあてました。発行が図らずも新型コロナウイルスの流行に重なり、不思議な巡り合わせを感じています。

○カラー口絵8頁 麻疹絵・疱瘡絵と菓子 (解題あり)

江戸時代の麻疹絵と疱瘡(天然痘)絵を翻刻とともに掲載。病の際に食べて良いものとして白玉や飴が記された麻疹絵や、病を退けるとされる源為朝や桃太郎ほかの絵柄が習られた疱瘡見舞い用の菓子袋などをご紹介します。



口絵掲載の菓子袋(部分)
虎屋文庫蔵

○お菓子と厄災 —菓子に託した祈りと願い—

亀井 千歩子(日本地域文化研究所代表)

民俗学的視点から、疱瘡流行の折に疫病退散を願って作られた菓子や、昨年新型コロナウイルス禍で話題となった、アマビエやヨゲンノリがモチーフの菓子などをご紹介します。健康を願い、辛い気持ちの慰めとする点で、両者には共通するものが感じられます。

○近世・近代の菓子と健康観の変容 —養生から滋養衛生へ—

橋爪 伸子(同志社大学経済学部非常勤講師)

明治時代の内国勧業博覧会の出品記録から健康にちなむ名前の菓子を抽出し、近世以来のもの、近代以降のものに分け、健康観の変容について考察されています。「養生」「養命」「養老」を含む菓子は近世から見られ、求肥の菓子や、生薬など体に良いとされる原材料を使ったものが多いこと、「滋養」「衛生」を含む菓子の登場は近代以降で、西洋由来の原材料の使用が多く、これらを有益とする意識が感じられることを指摘されています。

○菓としての砂糖

稲垣 裕美(内藤記念くすり博物館学芸員)

古く砂糖は貴重な菓であったといわれますが、歴史の観点から、処方や薬効について具体的にまとめたものはこれまでなかったのではないのでしょうか。本論考は、本草書や医学書の記述から、江戸時代の日本における、合菓ごうやく(数種類の生菓を調合した菓)への砂糖の用いられ方を読み解いています。諸資料から、砂糖が日本へ伝来する以前に、既に菓として扱われていた様子が見え、興味深いところではあります。

和菓子研究

○饅頭を手製する大名 一弘前藩主津軽寧親やすちかと福山藩主阿部正倫まさとも—

岡崎 寛徳(半蔵門ミュージアム主任学芸員)

「大名の手製菓子と贈答 一弘前藩主津軽寧親と地縁・血縁関係者—」(本誌 25 号)の続稿です。寧親やすちかと正倫まさともが交わした書状に焦点をあて、正倫が、寧親からもらった製法書を参考に饅頭作りに励んでいたことや、前稿で未確定だった書状の年次を明らかにされています。弘前藩の御用菓子屋の存在に触れている点にも注目です。

虎屋の御用記録の翻刻

24 号より続けてきた元禄 13 年(1700)「諸方御用留帳」しよかた ごようとめちよう(虎屋黒川家文書)の翻刻の最終回です。創業地・京都における記録で、宝永 2 年(1705)を中心に、元禄 6 年、享保 10~13 年(1725~28)の注文が収録されています。幕府高家・日野資成すけなりの雛菓子御用では、日野家に関わる「藤巴」や「竹に雀」ふじどもえの紋を描いた重箱に入れたとの記述があり、親族への贈りものであったことがうかがえます。

購入方法

通信販売(FAX・E-mail)にて承ります(送料実費)。※一般には流通しておりません。

バックナンバーも販売中 〈 価格 19・22~27 号 1,000 円、 他は 900 円(いずれも税込) 〉

各号特集タイトル ※創刊号~4、6、13~14、18 号は完売しました。

5 号 和菓子原材料の現在	12 号 唐菓子	22 号 地域資料に見る菓子
7 号 歴史資料と和菓子	15 号 菓子道具	23 号 あめ
8 号 外来食文化と和菓子	16 号 武家社会と菓子	24 号 近代と菓子
9 号 九州	17 号 江戸と菓子	25 号 藩と菓子
10 号 民俗と菓子	19 号 菓子史料コレクションから見えるもの	26 号 和菓子作りとその周辺
11 号 菓子とまじない、占い	21 号 贈答と菓子	27 号 近世菓子見本帳

購読お申し込み・お問い合わせ先

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-9-9 赤坂 MK ビル 2 階
株式会社 虎屋 虎屋文庫
電話 03-3408-2402 FAX 03-3408-4561
URL: <https://www.toraya-group.co.jp/>
E-mail: bunko@toraya-group.co.jp

【虎屋文庫】室町時代後期創業の虎屋の菓子資料室です。菓子に関する資料収集、調査研究、展示の開催や機関誌の発行などを行っています。『和菓子を楽しむ人たち』(2017 年、山川出版社)、『ようかん』(2019 年、新潮社)も発売中。